

特集 山口県 自動車販売

新車販売 2年ぶり増

軽が登録車の落ち込みカバー

環境性能割“廃止”で拡大期待



2025年1~12月 山口県新車販売台数

登録車種	台数	前年比
乗用車	35,161	99.4
普通小型	18,917	93.2
貨物車	11,494	107.4
普通小型	3,707	110.0
その他	1,253	95.8
軽自動車	2,454	119.0
乗用車	1,043	103.6
貨物車	21,747	106.4
その他	5,604	99.0
合計	62,512	101.7

メーカー別	登録車種	台数	前年比
トヨタ	登録自動車	18,916	103.3
	軽自動車	406	133.1
レクサス(トヨタ計)	登録自動車	19,322	103.8
	軽自動車	827	94.2
日産	登録自動車	20,149	103.3
	軽自動車	2,464	73.4
ホンダ	登録自動車	2,661	88.7
	軽自動車	5,125	80.6
マツダ	登録自動車	3,508	90.8
	軽自動車	3,546	89.2
三菱	登録自動車	7,054	90.0
	軽自動車	1,694	99.6
スバル	登録自動車	913	98.8
	軽自動車	2,607	99.4
スズキ	登録自動車	349	106.4
	軽自動車	746	81.7
ダイハツ	登録自動車	1,095	88.2
	軽自動車	722	91.4
いすゞ	登録自動車	265	144.8
	軽自動車	987	101.4
日野	登録自動車	2,237	127.4
	軽自動車	9,753	91.6
三菱ふそう	登録自動車	11,990	96.7
	軽自動車	453	144.3
UDトラックス	登録自動車	9,058	147.3
	軽自動車	9,511	147.1
輸入車/その他	登録自動車	797	101.1
	軽自動車	531	79.7
合計	登録自動車	624	123.1
	軽自動車	224	125.8
合計	登録車種	1,818	94.1

単位:台、% 日刊自動車新聞社まとめ

山口県の2025年暦年の新車販売台数(登録車と軽自動車の合計)は、前年同期比1.7%増の6万2512台で、2年ぶりに前年を上回った。国内の新車販売も同3.3%増の45万6千777台と2年ぶりに前年を上回っており、全国の動きに比例した市場だった。特にダイハツ工業が24年に認め証不正の影響で販売台数が低迷していたため、反動増で前年実績を大幅に上回った。

登録車と軽自動車の合計は、前年同期比1.7%増の6万2512台で、2年ぶりに前年を上回った。国内の新車販売も同3.3%増の45万6千777台と2年ぶりに前年を上回っており、全国の動きに比例した市場だった。特にダイハツ工業が24年に認め証不正の影響で販売台数が低迷していたため、反動増で前年実績を大幅に上回った。

25年の県内新車販売の内訳は、登録車が同0.6%減の3万5161台、軽自動車同4.8%増の2万7351台だった。ダイハツの反動増の影響で、軽自動車が登録車の落ち込みをカバーした形だが、全体でも23年の水準までは回復しなかった。

25年の県内新車販売の内訳は、登録車が同0.6%減の3万5161台、軽自動車同4.8%増の2万7351台だった。ダイハツの反動増の影響で、軽自動車が登録車の落ち込みをカバーした形だが、全体でも23年の水準までは回復しなかった。

日本自動車販売協会連合会山口県支部

佐藤 宏彦 支部長



2025年の県内登録車販売は、前年比0.6%減の3万5161台だった。全国の登録車販売台数が同1.2%の増加だったことと比較しても、県内は厳しい市場だったと感じている。やはり、半導体不足などで生産供給が滞り、長納期化になる車種があったことが影響した。

26年は、物価高に加えて不安定な世界情勢が国内景気に影響を及ぼす可能性が高く、自動車販売に悪影響を与えることを心配している。一方で、自動車税制の軽減は自動車販売に好影響をもたらすし、さらに人気や話題性のある新型車への商品切り替えや、供給制限の緩和による長納期化の解消に積極的な販売を加えていくことで、昨年以上の販売台数となることを期待していると予測している。

地域に密着したカーライフ提供

により来場者が前年を下回ったものの、契約台数は前年を上回る264台を記録し、結果として成功裏に終わった。3回開催したことで地域に定着しつつあり、26年は新たな視点からさらなる中古車市場開拓に向けた活動に取り組んでいく。



山口県軽自動車協会

松本 秀樹 会長

2025年4月から26年1月までの山口県内における軽自動車販売は、前年同期比0.1%減の2万1899台で、ほぼ前年並みで推移している。だが、全国の軽自動車販売は同3.2%増で推移していることから、市場率は向上している。全国的に売れ行きが好ましい状況だ。物価

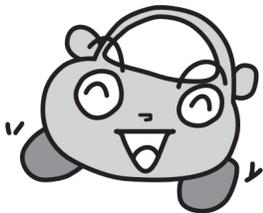
26年度(26年4月から27年3月)の県内新車販売は、自動車税環境性能割の廃止による

買い換え需要喚起の活動を強化

買い換えの反動で、前年度比約5%の増加を見込んでいる。環境性能割の廃止は、26年に入ってから買い換えや登録・届け出時期の先延ばしなど、廃止決定まで影響があるもの、協会としては大幅な減税として前向きに捉えている。そのため、最大9万円の減税をフックに、県内の買い換え需要を喚起するプロモーションを強化したい。加えて、最新の安全装備を備えた軽自動車への乗り換えを促進し、県内の交通事故の削減、そして環境負荷低減を目指していく。

プロモーションの強化では、従来はラジオを活用していた販売促進活動を、新しい試みとして「Instagram」や「TikTok」など若年層向けSNS媒体の活用を始めた。反響によっては今後の継続も検討していく。

軽自動車は、公共の交通機関が利用しにくい地域でも、移動手段として活躍しています。



山口県軽自動車協会イメージキャラクター「プッチー」

- 会長 松本 秀樹
- 副会長 大滝 一郎
- 副会長 田上 喜美
- 副会長 山本 彩子
- 副会長 上野 洋介

山口県軽自動車協会 山口市葵1丁目5番58号 ☎(083)922-8877

経営の健全化で豊かなカーライフをめざし地域社会づくりに貢献します

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会山口県支部 ☎083(922)0909

- ネットトヨタ山口(株) 周南市東屋806-3 ☎0834(25)1010
- 山口日産自動車(株) 山口市大内千坊6丁目2-1 ☎083(922)2200
- 山口マツダ(株) 山口市維新公園3丁目8-5 ☎083(922)2266
- 山口日野自動車(株) 山口市陶1226-1 ☎083(929)3835
- 下関三菱自動車販売(株) 下関市幡生宮の下町7-15 ☎083(252)1161
- (株)ホンダ自販山口 下関市古原町11-9-7 ☎083(252)1234
- 山口トヨタ自動車(株) 山口市小郡下郷945-2 ☎083(973)3111

- トヨタカローラ山口(株) 周南市新地1丁目6-1 ☎0834(22)2000
- 山口トヨペット(株) 山口市維新公園3丁目12-25 ☎083(922)1111
- 山口三菱自動車販売(株) 防府市高倉2丁目3-10 ☎0835(23)5555
- 日産プリンス山口販売(株) 宇部市則貞6丁目8-30 ☎0836(32)2035
- (株)スズキ自販山口 宇部市妻崎南側832 ☎0836(45)0100
- (株)ホンダベルノ東山口 周南市川手2丁目10-19 ☎0834(63)1800
- スバル中四国(株)山口 山口市朝田1049-1 ☎083(922)2022

- (株)中国ホンダ販売 岩国市尾津町2丁目15-30 ☎0827(31)3135
- いすゞ自動車中国四国(株)山口支社 山口市葵1丁目5-82 ☎083(974)1210
- 三菱ふそう中国地区販売(株)山口支店 山口市小郡長谷1丁目8-12 ☎083(974)1210
- UDトラックス(株)山口カスタマーセンター 山口市小郡上郷(保津)5192 ☎083(974)0023
- 山口ダイハツ販売(株) 下関市東大和町2丁目11-1 ☎083(267)1106
- (株)ホンダカーズ山口中央 山口市朝田619-1 ☎083(922)5078
- (株)ホンダモビリティ中四国 中国カンパニー山口 山口市朝田1736-1 ☎083(928)5776

- (株)三光ホンダ 宇部市大字妻崎南側85-1 ☎0836(41)8866
- (株)ホンダカーズ光東 下松市瀬音町2丁目1-10 ☎0833(44)4600
- (株)ヤナセ山口支店 山口市朝田下郷田1604-1 ☎083(922)5566
- (株)オージス 山口市大内矢野町1丁目1-8 ☎083(902)8833
- (株)バルコムモーターズ山口店 山口市朝田1618-1 ☎083(901)0700
- (株)ホンダカーズ山口西 宇部市西坂波1284-1 ☎0836(51)3118

- 支部長 佐末 大
- 副支部長 末小 上
- 副支部長 田 野
- 副支部長 野 上
- 副支部長 野 上

- 宏喜敏 秀洋
- 彦昭之 夫介